

【進捗報告1/2】
プロジェクト番号：R2-02

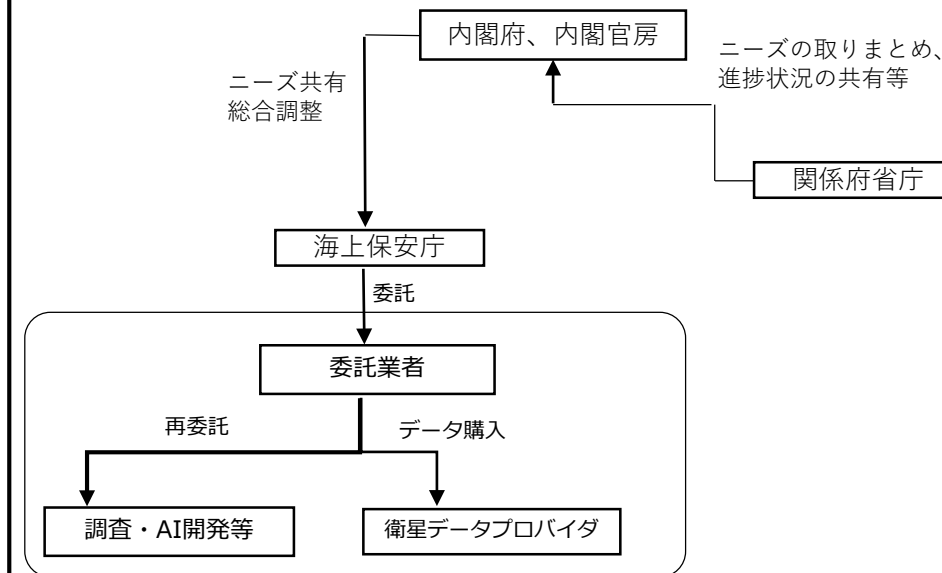
衛星データ等を活用したAI分析技術開発

主担当庁：国土交通省
(海上保安庁)
連携省庁：内閣府
内閣官房
(事業期間4年程度)

事業計画

- ① 原理開発調査
 - 利用を希望している省庁への概要説明及び要望調査
- ② プロトタイプ AI システム開発
 - 上記調査にて把握した各省庁の業務ニーズに対応したプロトタイプを開発
 - 開発の過程で、必要に応じ各省庁からの要望を再調査のうえプロトタイプに反映
- ③ 情報共有基盤構築
 - プロトタイプの試験運用を通じて、ユーザーとなる各省庁からニーズ充足度（使い勝手等）についてヒアリング実施
 - 上記を踏まえ所要の修正
- ④ 評価・検証
 - 試験運用を通じた所要の改修に取り組みつつ、中間評価を実施し更なる改善を継続
 - 実用モデルの作成
- ⑤ 社会実装
 - 令和7年度から実用モデルの展開を想定

実施体制



	R3	R4	R5	R6
① 原理開発調査	←→			
② プロトタイプ AI システム開発	←→			
③ 情報共有基盤構築		←→		
④ 評価・検証	←→			

留意事項への対応状況

- 関係省庁共有基盤の開発にあつては、既存システム（海しる）を用いることで、効率的に進めること。
 - 効率性を高めるため、関係省庁共有基盤の開発にあつては、既存システム（海しる）を用いることで検討を進めており、プロトタイプの試行も海しるを活用予定

当該年度の進捗状況

① 原理開発調査

関係省庁二一ズ構築体制を構築

- 参加府省庁による第一回会合開催
- 年度内に第二回会合開催予定

関係省庁ヒアリング

- 8.27～9.17の間、参加府省庁からヒアリングを実施

② プロトタイプAIシステム開発

- R3.8.24 委託事業者と契約
- R3.11プロトタイプの試運用開始予定

次年度の事業計画（案）

① 情報共有基盤構築

初年度の成果を踏まえ、二一ズ充足度等に関するヒアリングに早期着手

参加府省庁からの意見聴取

- 初年度に試運用に参加した府省庁にヒアリングを実施

問題点の抽出

- ヒアリング結果及び技術調査の結果を踏まえ、問題点の抽出を実施

AIの再学習・ソリューションの改修

- 抽出された問題点解決のためのAIの再学習・ソリューションの改修を実施

② 評価・検証

- 再試運用
- ・次年度以降の評価・検証のため、再度の試運用を関係省庁に依頼